



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月15日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL http://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門長 (氏名) 山崎 浩 TEL 03-5286-6231
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	18	25.4	△181	—	△181	—	△181	—
26年12月期第1四半期	15	△47.8	△176	—	△189	—	△189	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △235百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △200百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△20.98	—
26年12月期第1四半期	△22.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	2,808	2,582	92.0	297.70
26年12月期	3,051	2,817	92.3	324.80

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 2,582百万円 26年12月期 2,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25	△26.9	△565	—	△560	—	△565	—	△65.13
通期	90	4.3	△1,100	—	△1,085	—	△1,090	—	△125.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期1Q	8,674,419株	26年12月期	8,674,419株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	127株	26年12月期	127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期1Q	8,674,292株	26年12月期1Q	8,633,442株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加、雇用・所得環境の改善など緩やかな回復基調にあるものの、欧州や新興国における景気減速や金融不安といった懸念材料もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、平成27年3月に日本再生医療学会が開催され、テーマを「究極の再生医療」として再生医療に関わる関係者相互間の情報交換や再生医療に関する政策提言などが行われました。

以上のような環境の下、当社グループは日本における細胞シート再生医療事業の開発体制構築を推進するとともに、欧州での食道再生上皮シート開発体制整備を主目的とした連結子会社の設立をいたしました。

上述のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は18,836千円(前年同四半期比3,818千円の増加)、営業損失は181,547千円(前年同四半期比4,703千円の増加)、経常損失は181,531千円(前年同四半期比7,558千円の減少)、四半期純損失は181,974千円(前年同四半期比7,633千円の減少)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、温度応答性細胞培養器材に関する共同研究開発活動に取り組みました。また第14回日本再生医療学会(平成27年3月19日から3月21日、パシフィコ横浜)及びExperimental Biologyn(平成27年3月27日から平成27年3月30日、米国ボストン)の付設展示会に当社ブースを出展するなど、当社器材製品の積極的な販売促進活動にも取り組みました。また、新規導入器材の開発に向けた探索活動を推進いたしました。

以上のような活動の結果、売上高は18,836千円(前年同四半期比3,818千円の増加)、営業損失は16,137千円(前年同四半期比3,038千円の減少)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

平成27年3月には、東京女子医科大学と食道再生上皮シート臨床開発の今後の実用化開発、治験及び製造販売承認申請について相互に協力体制を構築した上で推進していくことを目的として基本合意書を締結することを決定いたしました。また、欧州における食道再生上皮シートを中心とした細胞シート再生医療事業の開発を積極的に推進していくことを目的として、平成27年3月に連結子会社をスウェーデンに設立申請し、5月に登記手続きが完了いたしました。

以上のような活動の結果、営業損失は98,466千円(前年同四半期比2,948千円の減少)となりました。(当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて252,291千円減少し、2,766,101千円となりました。これは主に、現金及び預金が199,202千円減少したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて9,323千円増加し、42,252千円となりました。これは主に、保証金の差入などによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて242,967千円減少し、2,808,354千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて7,893千円減少し、225,975千円となりました。これは主に、賞与引当金が9,947千円、前受金が2,427千円それぞれ増加し、未払金が1,727千円、未払法人税が11,854千円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて7,893千円減少し、225,975千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて235,073千円減少し、2,582,379千円となりました。これは主に、四半期純損失181,974千円を計上したことなどによります。なお、平成27年3月27日開催の定時株主総会の決議により、資本金2,532,263千円、資本準備金5,290,466千円をそれぞれ減少しその他資本剰

余金に振替え、振替後のその他資本剰余金7,822,730千円の全額を繰越利益剰余金に振替えることにより欠損填補に充当しております。

(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年2月16日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は2,921,463千円となり、財務基盤については一定水準を保持して推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と器材事業の拡充による収益機会の獲得

当社グループは、今後、当社が優先的自社開発パイプラインとして設定した食道上皮再生シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、またその関連周辺機器の開発を拡充し、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,921,463	2,722,260
売掛金	18,346	6,871
商品及び製品	13,582	6,741
貯蔵品	14,208	14,208
前払費用	15,685	7,148
その他	35,107	8,871
流動資産合計	3,018,392	2,766,101
固定資産		
投資その他の資産	32,929	42,252
固定資産合計	32,929	42,252
資産合計	3,051,322	2,808,354
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,631	1,400
未払金	54,434	52,706
未払法人税等	14,193	2,339
賞与引当金	—	9,947
前受金	144,738	147,166
その他	18,871	12,415
流動負債合計	233,869	225,975
負債合計	233,869	225,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,310,466	2,778,203
資本剰余金	5,290,466	—
利益剰余金	△7,871,723	△230,967
自己株式	△201	△201
株主資本合計	2,729,008	2,547,034
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	88,444	35,345
その他の包括利益累計額合計	88,444	35,345
純資産合計	2,817,452	2,582,379
負債純資産合計	3,051,322	2,808,354

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	15,018	18,836
売上原価	13,400	9,827
売上総利益	1,618	9,009
販売費及び一般管理費		
研究開発費	81,155	76,421
その他	97,306	114,135
販売費及び一般管理費合計	178,462	190,556
営業損失(△)	△176,844	△181,547
営業外収益		
受取利息	236	251
為替差益	407	—
その他	285	395
営業外収益合計	929	646
営業外費用		
為替差損	—	629
株式交付費	5,070	—
支払手数料	7,893	—
その他	211	—
営業外費用合計	13,175	629
経常損失(△)	△189,089	△181,531
税金等調整前四半期純損失(△)	△189,089	△181,531
法人税、住民税及び事業税	518	443
法人税等合計	518	443
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△189,607	△181,974
四半期純損失(△)	△189,607	△181,974

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△189,607	△181,974
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,741	△53,099
その他の包括利益合計	△10,741	△53,099
四半期包括利益	△200,349	△235,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△200,349	△235,073
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年3月27日開催の定時株主総会の決議により、資本金2,532,263千円、資本準備金5,290,466千円をそれぞれ減少しその他資本剰余金に振替え、振替後のその他資本剰余金7,822,730千円の全額を繰越利益剰余金に振替えることにより欠損填補に充当しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における資本金は2,778,203千円、資本剰余金は一円となっております。

なお、株主資本合計金額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結損 益計算書計上 額（注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,018	—	15,018	—	15,018
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,018	—	15,018	—	15,018
セグメント損失（△）	△19,176	△101,414	△120,591	△56,253	△176,844

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△56,253千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結損 益計算書計上 額（注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,836	—	18,836	—	18,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,836	—	18,836	—	18,836
セグメント損失（△）	△16,137	△98,466	△114,604	△66,943	△181,547

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△66,943千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。